

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

## 前作に病気や雑草でお困りの方は土壤消毒が有効です！

### バスアミド®

👉 効果を上げるポイント!

微粒剤



- ① 砕土を丁寧に行う  
→固まっている土の内部は消毒されません！
- ② 可能な限り被覆を行う  
→被覆を行わないと薬剤が抜けやすくなります  
病原菌は深層に潜んでいます！
- ③ 石灰窒素と併用がおすすめ  
→根こぶ病などに対しては石灰窒素と併用することで効果が安定します！

地温による被覆期間の目安	
地温	被覆期間
25℃以上	7～10日
20℃	10～14日
15℃	14～20日
10～15℃	20～30日以上

苗立枯病(リクトコ菌)・株腐病・萎黄病・  
バーティリウム萎凋病・根こぶ病・ネバセンチュウ・  
一年生雑草  
20～30kg/10a 1回  
は種又は定植21日前まで

### 害虫対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
30	ウバ類・コガ・ハマグサノメイガ・オタバコガ・ヨトウムシ ハモンヨトウ・シロイモシヨトウ・アムシ	ブロフレアSC	2000～4000倍	前日	3回
4E	ウバ類・コガ・カブラハバチ類・ナメコバエ・ヨトウムシ ハマグサノメイガ・ハモンヨトウ・シロイモシヨトウ・アムシ	フィールドマストフロアブル	4000倍	前日	2回
28	ウバ類・コガ・ハマグサノメイガ・オタバコガ ヨトウムシ・ハモンヨトウ・アムシ	プレバソンフロアブル5	2000倍	前日	3回
6	コガ・ヨトウムシ・ハマグサノメイガ・オタバコガ タナキノウバ・ハモンヨトウ・アムシ	アフーム乳剤	1000～2000倍	前日	3回

### 病害対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象病害	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数
2	株腐病・菌核病	ロブラール水和剤	○	—	1000倍	7日前	4回
7	株腐病・菌核病	カナメフロアブル	○	○	4000倍	前日	3回
12	株腐病・菌核病	セイビアーフロアブル20	○	—	1000倍	前日	3回
11	株腐病・菌核病 べと病・ヒンカム腐敗病	メジャーフロアブル	○	○	2000倍	3日前	3回

⚠️ 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！ ⚠️

酷暑に打ち克つ

## ヒートインパクト

暑さに負けない“強さ”を引き出す

- ◆ 果菜類や結球野菜の肥大不足対策
- ◆ 高温による苗の徒長防止
- ◆ 光合成機能の低下による収量減対策

環境ストレスに強い  
Impact



果菜類・葉菜類使用例  
1000倍 100ml/10a  
本葉展開後～収穫前  
2～3回 葉面散布



毎月1日掲載  
各作物をチェック！

